

別紙様式 4

病院整備計画の概要書【地域医療構想調整会議用】

1 医療機関の名称・所在地・所在二次保健医療圏

名 称：明生リハビリテーション病院

所在地：埼玉県所沢市東狭山ヶ丘四丁目2681番地の2

所在二次保健医療圏：西部保健医療圏

2 開設者の名称・所在地（個人開設の場合、所在地は市町村名を記載）

名 称：社会医療法人社団埼玉巨樹の会 理事長 瓜生田 曜造

所在地：埼玉県久喜市上早見418番地の1

3 医療機関の現状

病床数

| 病床機能区分 | 病床種別 | 許可病床数 | 稼働病床数 | 非稼働病床数 |
|--------|------|-------|-------|--------|
| 回復期 | 療養病床 | 120床 | 120床 | 0床 |
| | | | | |
| 計 | | 120床 | 120床 | 0床 |

病床利用率（平均）

| 一般病床 | 療養病床 | 地域包括ケア病床 | 回復期リハビリテーション病床 |
|------|------|----------|----------------|
| — | — | — | 95.8% |

病院整備計画申出者（法人名） 社会医療法人社団埼玉巨樹の会（明生リハビリテーション病院）

4 開設等の目的、整備方針、必要性、地域医療構想調整会議の議論との整合性

平成21年回復期リハビリテーション病院として開設し、地域の急性期病院から回復期リハビリテーション対象患者を受けております。令和5年度には111床から120床へ増床後もほぼ満床で運営し、入院患者には1日平均8.3単位のリハビリテーションを実施、在宅退院・社会復帰を目指し、また生活期の患者には外来及び訪問リハビリテーションを提供し、社会生活の維持を目指しております。

令和4年度病床公募において9床の増床を承認いただくのと同時に、社会医療法人社団埼玉巨樹の会で、急性期病院として、令和5年11月25日に所沢美原総合病院（221床）を開院させましたが、令和5年12月末には満床になり、地域の救急患者の受け入れに支障をきたす事態となりました。この状況を解決する為に、所沢美原総合病院からの患者を積極的に受け入れましたが、一時的にその他の地域の急性期病院からの受け入れに支障をきたす事となりました。

回復期機能は、令和6年2月19日（月）に開催された西部圏域の地域医療構想調整会議において、急性期病院の視点から、回復期病院への転院がスムーズになれば、救急搬送患者を病床不足でお断りしなくて済むとのご意見をいただいております、回復期病院の拡充が必要と考えます。

西部保健医療圏の急性期病床を確保するため、所沢美原総合病院の急性期病床の回転を良くし、さらに他の急性期病院からの受け入れも出来るよう、所沢美原総合病院の隣地に新築移転する計画を立てました。新築予定地の容積率の制限から1つの病棟が最大59床となり、3病棟で運用する場合は59×3の177床で、不足分の57床の増床をお願いする次第です。

尚、建築関係経費の高騰に鑑み、病院経営安定の為、所沢美原総合病院の近接性を活かした人的支援を受けて、小規模な健康診断事業を運営することを検討中です。

病院整備計画申出者（法人名） 社会医療法人社団埼玉巨樹の会（明生リハビリテーション病院）

5 開設等の計画の具体的内容

(1) 整備する病床の機能・数 整備計画病床 57 床

| 病床機能区分*1 | 医療機能*2 | 病床種別 | 入院基本料 特定入院料 | 病床数 |
|----------|--------|------|---------------------|------|
| 回復期 | — | 療養 | 回復期リハビリテーション病棟入院料 I | 57 床 |
| 計 | — | — | — | 57 床 |

*1 高度急性期、急性期、回復期、慢性期のいずれかの病床機能を記載

*2 がん医療、脳卒中医療、心血管疾患医療、救急医療、災害時医療、周産期医療、小児医療、感染症医療、在宅医療など整備する病床が担う医療機能を記載

(2) 整備する病床数の根拠

①病床数の考え方

所沢美原総合病院は断らない救急医療を目指し、西部医療圏の救急医療に尽力しております。地域医療への貢献を目的とした、救急症例検討会を埼玉西部消防局、入間東部地区事務組合消防本部、埼玉県南西部消防局、川越地区消防局の救急隊と合同で実施しており、相互の理解を深め、よりスムーズな救急搬送が行えるよう、連携強化を図り、基本的に全ての救急車を受け入れるようにしていますが、病床利用率はほぼ100%（221床）で運営されており、ベッドコントロールに苦慮しています。入院患者のうち、回復期リハ等へ転院する患者は月に約60名で、当院には約30名、他回復期リハ等へ約30名転院しております。

また、当院へ所沢美原総合病院以外の急性期病院からの紹介は月約50件ありますが、そのうち約30名の患者を受け入れる事が出来ておりません。

当院は、西部保健医療圏の急性期病床確保のため、出来るだけ断らず、しかも迅速な患者の受け入れを目指しております。増床する事により、今まで当院で受け入れる事が出来なかった約60名（所沢美原総合病院30名、他病院30名）のうち、57床増床により月約30名を受け入れが可能となり、西部保健医療圏の救急医療態勢を維持していきたいと考えております。

病院整備計画申出者（法人名） 社会医療法人社団埼玉巨樹の会（明生リハビリテーション病院）

令和5年度実績は脳血管疾患43%、運動器疾患42%、廃用症候群15%となっております。

脳血管疾患（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血など）

運動器疾患（大腿骨頸部骨折、脊椎骨折、骨盤骨折など）

廃用症候群（肺炎後、開腹術後など）

仮に承認病床数が整備（希望）計画病床数を下回る場合の意向（いずれかを囲んでください。）

計画申出を取り下げる

・ 計画変更して整備を行う
 （ 36 床以上であれば整備を行う）

【変更後の病床数の根拠】

36床の増床が認められると3病棟体制で1病棟52床での稼働が可能ですが、それ以下の場合でも夜勤スタッフは同じ配置数が必要となります。その場合、人件費比率が上昇し、病院運営上困難をきたす為、36床増床が最低限と考えます。

病院整備計画申出者（法人名） 社会医療法人社団埼玉巨樹の会（明生リハビリテーション病院）

②-1 増床する病棟の概要

| 病棟名 | 病床数 | 病床機能報告区分 | 平均在院日数 | 病床利用率 |
|---|-------|--|-------------------------|-------|
| 5 階病棟 | 5 7 床 | 回復期 | | |
| | 一般/療養 | 入院基本料・特定入院料 | 回復期リハビリテーション病棟 入院料 I | |
| 診療科 リハビリテーション科 | | | | |
| 患者の受入見込み (※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入してください。) | | | | |
| 【増床前】 年間入院数 588 人 所沢美原総合病院（所沢明生病院、狭山中央病院を含む） ・・・年間 353 人（60%） 防衛医科大学校病院・・・年間 35 人（6%） 埼玉石心会病院・・・年間 27 人（5%） 所沢中央病院・・・年間 27 人（5%） 圏央所沢病院・・・年間 23 人（5%） その他 65 病院・・・年間 123 人（21%） | | 【増床後】 年間入院数 推定 900 人 所沢美原総合病院・・・年間 500 人（56%） 防衛医科大学校病院・・・年間 60 人（7%） 埼玉石心会病院・・・年間 50 人（6%） 所沢中央病院・・・年間 50 人（6%） 圏央所沢病院・・・年間 50 人（6%） その他 65 病院・・・年間 190 人（21%） | | |
| 医療（介護）連携見込み (※具体的に記入してください。) | | | | |
| 【増床前】 ○紹介元：所沢美原総合病院、防衛医科大学校病院、埼玉石心会病院 等 ○紹介先：老健みかじま、特養ケアカレッジ、サ高住そよかぜ 等 | | 【増床後】 ○紹介元：同左 ○紹介先：同左 | | |

病院整備計画申出者（法人名） 社会医療法人社団埼玉巨樹の会（明生リハビリテーション病院）

②-2 既存病棟の概要

| 病棟名 | 病床数 | 病床機能報告区分 | 平均在院日数 | 病床利用率 |
|--|-------|-------------|-------------------------|-------|
| 2階病棟 (現病院) | 60床 | 回復期 | 67.8日 | 95.4% |
| | 一般/療養 | 入院基本料・特定入院料 | 回復期リハビリテーション病棟 入院料 I | |
| 病棟名 | 病床数 | 病床機能報告区分 | 平均在院日数 | 病床利用率 |
| 3階病棟 (現病院) | 60床 | 回復期 | 73.2日 | 93.8% |
| | 一般/療養 | 入院基本料・特定入院料 | 回復期リハビリテーション病棟 入院料 I | |
| 診療科 リハビリテーション科 | | | | |
| 診療実績 (※整備する病床に関連する実績を記載してください) | | | | |
| <p>令和5年度実績として、年間で脳血管疾患が194名、運動器疾患が275名、廃用症候群が119名の計588名の患者を受け入れており、重症度、医療・看護必要度は平均55.5%、重症度改善率は平均79.0%であり、重症な患者も多く受け入れております。</p> <p>入院中はリハビリを平均8.3単位提供しており、回復期アウトカム実績は平均53、平均在院日数は約69日、在宅復帰率は約92%です。退院後のフォローとして、外来リハビリと訪問リハビリも実施しており、地域医療への貢献を目指し、診療を行っております。</p> <p>令和5年8月から10月にかけて、増床工事のために病床利用率の減少を認めましたが、増床後は97.7%とほぼ満床で推移しています。</p> | | | | |

③ 医療（介護）連携における課題・問題点と対応

平均入院待機日数が約10日で、地域の急性期病院と連携を図り、急性期病床を空けるため、出来るだけ迅速に入院を受け入れていますが、増床によりさらに短縮できることを目指します。当院退院後の9割は在宅復帰・社会復帰されており、在宅医療連携拠点、市町村、ケアマネージャーとの連携は取れております。

病院整備計画申出者（法人名） 社会医療法人社団埼玉巨樹の会（明生リハビリテーション病院）

(3) 計画敷地

| | 面積 | 取得予定時期 | 取得状況 | 備考 |
|--------------------|---|--------|-------|----|
| 取得済 | 3964.06㎡ | | 所有・借地 | |
| 仮契約済 | ㎡ | | 所有・借地 | |
| 取得予定 | ㎡ | | 所有・借地 | |
| 計 | 3964.06㎡ | | | |
| 取得見込等 (取得予定の場合) | 所沢街づくり条例により、中高層建築物の開発事業にあたる為、市役所開発指導課と調整中 | | | |

(4) 計画建物

| | |
|------|--|
| 工事種別 | 新築・増築・改修・その他（ ） |
| 概要 | 概要：所沢美原総合病院の隣地（所沢市）に新築移転整備予定 S造 地上6階 耐震構造 |

病院整備計画申出者（法人名） 社会医療法人社団埼玉巨樹の会（明生リハビリテーション病院）

(5) 医療従事者（※確保予定の人員には、増員となる人数を記載してください。）

| 職種 | 現在の人員（人） | | | 確保予定の人員（人） | | |
|-------|----------|-----|-------|------------|-----|------|
| | 常勤 | 非常勤 | | 常勤 | 非常勤 | |
| | | 実人数 | 常勤換算 | | 実人数 | 常勤換算 |
| 医師 | 5 | 11 | 2.6 | 3 | | |
| 看護師 | 49 | 2 | 0.7 | 23 | | |
| 准看護師 | 5 | 1 | 0.9 | — | | |
| 看護補助者 | 36 | 5 | 1.7 | 18 | | |
| 理学療法士 | 78 | 2 | 0.8 | 16 | | |
| 言語聴覚士 | 12 | | | 3 | | |
| 作業療法士 | 34 | 1 | 0.05 | 25 | | |
| その他 | 22 | 7 | 3.7 | 17 | | |
| 計 | 241 | 29 | 10.45 | 105 | | |

確保状況・確保策、確保スケジュール

医師、看護師および看護補助者は、採用と関連病院からの応援で、57床増床に向けた計画的な人材確保は可能と判断します。

リハスタッフは、関連法人の所有する5つの理学療法士等養成機関から、毎年約180名が関連病院に就職しています。欠員が出た場合は、関連病院からの異動実績もあります。

病院整備計画申出者（法人名） 社会医療法人社団埼玉巨樹の会（明生リハビリテーション病院）

(6) スケジュール

| No. | 項 目 | 計画年月 | 備 考 |
|-----|---------------|------------|-----|
| 1 | 開設（変更）許可（医療法） | 令和 7 年 8 月 | |
| 2 | 建築（着工） | 令和 7 年 9 月 | |
| 3 | 建築（竣工） | 令和 9 年 4 月 | |
| 4 | 医療従事者の確保 | 令和 9 年 4 月 | |
| 5 | 使用許可（医療法） | 令和 9 年 4 月 | |
| 6 | 開設（増床） | 令和 9 年 4 月 | |

* 計画年月の表記は「和暦」で記載すること。